

## 花を長く咲かせる

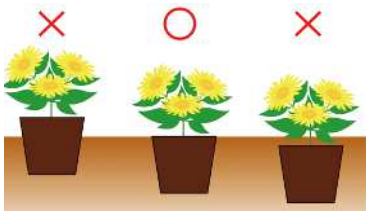
## 花いっぱい運動（春配付）

## トレニアとマリーゴールドの育て方

トレニア、マリーゴールドともに、少し手入れを工夫するだけで、秋まで花壇を彩ることができます。いつもの作業「プラスα」で、四季を通して美しい花壇づくりにチャレンジしてみましょう！

～ポット苗の植付け～

- ① ポット苗の根元を指で挟み、逆さにしてポットから苗を外します。
- ② 根が詰まっている場合は、軽くほぐします（根をむしり取らないように！）。
- ③ 掘った穴に植え付けします。



深植えや浅植えにならないよう、深さに注意しましょう！  
苗と苗の間隔にも注意しましょう！  
（間隔はトレニア、マリーゴールドともに 20～25 cm程度）

👉 定植後、茎の先端を切り取り（摘心またはピンチ）、咲いている花は摘んでみましょう！  
→根の活着が早まり、株が大きくなってたくさんの花をつけてくれます。

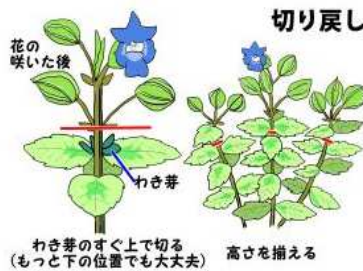
**トレニア** アゼナ科ツルウリクサ属 （東南アジア、アフリカ原産）

高温に強く、日照と水はけの良い用土を好む品種なので、日当たりのよい場所に適しています。

◎ 7月～8月頃には、切戻しをしてあげましょう。

### 花を長く楽しむコツ

元々開花期間の長い草花なので、上手に育てると初夏～秋まで長期間花を楽しむことができます。コツは「水切れさせない」「肥料をちゃんと与える」「伸びてきたら切り戻す」の3点です。肥料は切れても枯れることはありませんが、生育が弱って花数が少なくなります。



**マリーゴールド** キク科コウオウソウ属 （メキシコ原産）

日照と高温を好み、肥料、水をあまり好まない品種なので、街路花壇や荒れた土地に向いています。

【植付け】赤玉土（小）6・腐葉土3・バーミキュライト1に、緩効性肥料3g/ℓを混ぜた用土がよいでしょう。日当たりと水はけのよい場所が適します。

【管理】水やりは、表面の土が乾いたらたっぷりと与えます。追肥(化成肥料)は月に1回ほどでよいです。アブラムシやハダニなどの害虫に気をつけましょう。8月頃、夏に花数が少なくなってきたら、草丈の半分ほどで切戻すと、秋に再び花を付けます。

『みどりや花の育て方について』 詳しくはこちら



スマートフォン等でQRコードを読み込むとより様々な品種の詳しい情報をご覧いただけます！

